

ごあいさつ



枚方市は、昭和22年8月1日に府内で12番目の市として発足し、以来65年が経過する中、大阪・京都の中間に位置する京阪沿線の多機能都市として、人口40万人をこえる都市に発展をとげてきました。

現在、本市では多様な特徴を活かした施策を推進する中で「健康医療」「教育文化」を都市ブランドとして確立し、枚方を「住みたい・住み続けたいまち」から「市民が誇れるまち」へと飛躍させることをめざしています。

人口減少時代を迎え、少子高齢化の進展など社会環境が変化し市民ニーズが多様化する中、将来にわたって活力を維持し、選ばれるまちとして成長していくためには、都市が持つ魅力を一層高めていかななくてはなりません。

本市の中心市街地として発展してきた枚方市駅周辺地域も例外ではなく、高度経済成長やモータリゼーションといった社会背景のもとで備えられてきた都市基盤等の様々な特性を活かした再整備に取り組み、魅力あふれる中心市街地として新たな賑わいを創出していきたいと考えています。

そうしたことからこの度、まちづくりの専門家をはじめ事業者や地元の方々など様々なご意見をお聴きし、市駅周辺地域におけるまちの将来像を示した『枚方市駅周辺再整備ビジョン』を策定しました。

今後はこのビジョンの趣旨を踏まえ、関連事業・施策の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

結びに、ビジョン策定にご尽力いただいた意見聴取会並びにまちづくり懇談会の皆様をはじめ、貴重なご意見を頂戴した関係団体、市民の皆様に厚く感謝を申し上げます。

枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現に向けて、今後もご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

平成25年3月

枚方市長 竹内 脩